

# ALTERNATIVE ARTEFACTS

DANTO

## Milan Design Week 2024 Report

タイルブランド <Alternative Artefacts Danto> ミラノデザインウィークにてデビュー  
「Archaeology of Tiles」と題したインスタレーションを展開

クリエイティブディレクション：Teruhiro Yanagihara Studio  
デザイン：Teruhiro Yanagihara Studio、India Mahdavi

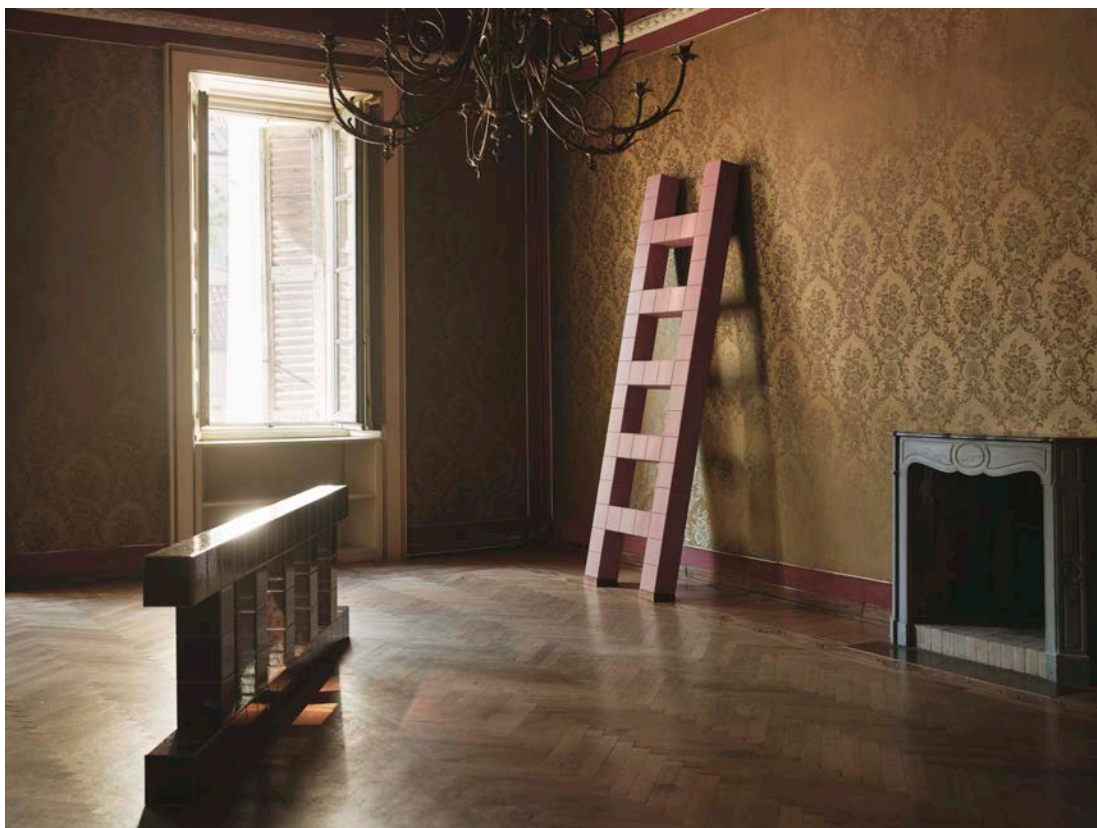


Photo : Felix Speller

2024年4月、ミラノデザインウィークにて新たなタイルブランド<Alternative Artefacts Danto（略称：A.a. Danto）>がデビューしました。

5VIE地区にある18世紀に建てられた建物を舞台に、過去から未来へ、暮らしの中におけるタイルの可能性を提案する「Archaeology of Tiles」と題したインスタレーションを開催しました。

手がけるのは瀬戸内海に浮かぶ淡路島で約140年前から続く、日本で最も古い工業タイルメーカーの一つであるダントーです。展示では、クリエイティブディレクションを担うTeruhiro Yanagihara Studio、そして、<A.a. Danto>の最初のコラボレーターであるIndia Mahdavi（インディア・マダヴィ）がデザインしたコレクションを初めて披露するとともに、淡路島で作られていた19世紀の珉平焼やタイルなどの展示を通し、ダントーが重ねてきた歴史を振り返りました。

<A.a. Danto>は先鋭的なクリエイティビティ、たゆまぬ陶土の研究開発、そして精緻な製造技術によって過去と未来をつなぎ、デザインを通してタイルの可能性を広げてまいります。

今回発表したタイルは9月より受注生産を承る予定です。

製品の詳細はウェブサイトよりご覧ください。 [aa-danto.com](http://aa-danto.com)

## ミラノでの展示について

タイトル：Archaeology of Tiles（アーキオロジー オブ タイルズ）

ブランド名：Alternative Artefacts Danto /略称：A.a. Danto

（オルタナティブ アーティファクツ ダントー / エー エー ダントー）

会期：2024年4月16日（火）～21日（日）

会場：Berta / Via Cesare Correnti 14, 20123 Milano

## デザイン：Teruhiro Yanagihara Studio



Tiles | Tray Type B



Tiles | Flat/matt



Tiles | Flat/gloss



Tiles | Flat/matt、Flat/gloss



Tiles | Flat/gloss、Corner



Tiles | Flat/gloss、Corner

## デザイン：India Mahdavi



Editions | Ladder



Editions | Ladder、Tiles | Crisscross



Editions | Ladder、Tiles | Freckles

## DESIGNER PROFILE

### Teruhiro Yanagihara Studio (テルヒロ ヤナギハラ スタジオ)



Photo : Shinsui Ohara

2002年、デザイナーの柳原照弘（やなぎはらてるひろ）によって創設され、日本、フランス、英国、オランダなど、多拠点から参画するスタッフとともにレストランやショップの空間デザインから、家具、テーブルウェアなどのプロダクトデザイン、テキスタイルデザイン、さらに香りのデザインまで、国内外で多岐に及ぶプロジェクトを手がけるデザインスタジオ。

プロジェクトのクライアントとなる企業やブランドの価値の本質を見極め、その世界観を包括的に伝える上で、空間や商品だけではなく、コミュニケーションツールなどのアートディレクションを含めたブランディング構築を手がけることもある。そのために、プロジェクトが生まれる土地の歴史や風土を入念にリサーチし、とりわけて伝統的な素材や技法に目を向け、伝統が時代に置き去りにされることのないよう、現代の暮らしの中に伝承していくデザインに意を注ぐ。

こうしたデザイン活動を行うとともに、ものづくりの思考やプロセスを表現し、また共感するアーティストやデザイナーのクリエイションを発信する起点として、神戸と南仏の古都アールにフランス語で波を意味する「VAGUE」という拠点を設ける。

### India Mahdavi (インディア・マダヴィ)



Photo : Antoine Doyen

フランス・パリを拠点にする建築家、デザイナー。2000年、パリ7区のラス・カーズ通りに建築からインテリア、空間設計、家具やプロダクトにいたるまで、分野をまたいでデザインを手がけるスタジオを開設し、その同じ通りにショールームやショップも設ける。独特の色彩とユーモアのセンスによって、現代における心地よさとエレガンスを併せ持つ独創的な空間づくりで知られる。色彩感覚に優れ、さまざまな文化圏への眼差しから生まれるインディア・マダヴィのクリエイションは、異なる文化が入り交じることで、特定の風土を限定しない、コスモポリタンかつ洗練された生活芸術を提案している。

Production : ダントーホールディングス株式会社

Creative Direction : Teruhiro Yanagihara Studio

Music supervision : Mido (MENACE/SENSE)

什器協力 : アベル株式会社

Website : [aa-danto.com](http://aa-danto.com)

Instagram : [@a.a.danto\(https://www.instagram.com/a.a.danto/\)](https://www.instagram.com/a.a.danto/)

## ABOUT COLLECTION

<Tiles> <Editions> 2種のコレクションを展開し、2024年9月より受注を予定しています。

### <Tiles> ラインアップ

1885年から世紀をまたいでダントーが積み上げてきたクリエイションへ敬意を込め、その要素を再編集し、これからの100年も使い続けられるような「タイルのスタンダード」をデザインするコレクション。タイルと人の関係性を長い時間軸で捉え、タイル文化を牽引してきたダントーブランドの思想を体現しています。



## TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO



Flat / matt 5サイズ38色展開

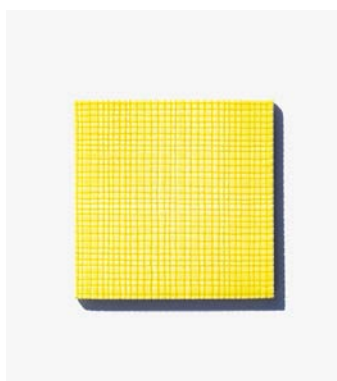


Flat / gloss 5サイズ38色展開



Tray A、B、C、D 4種5色展開

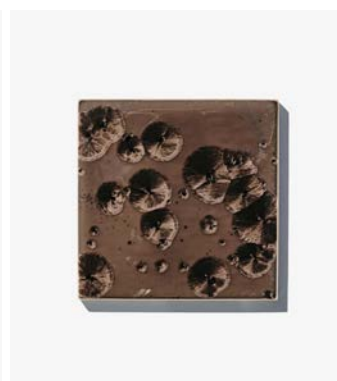
## India Mahdavi



Crisscross 2面状 3色展開.



Cracks 1種3色展開



Mycelium 1種4色展開



Freckles 1種4色展開

## < Editions >

世界各国のデザイナーやアーティストと共に、タイルというものを捉え直し、その無限の可能性を模索する挑戦的なコレクション。かつては陶磁器や焼き物を製作していたダントーの歴史からバトンを引き継ぎ、多様なシーンやこれまでにない色・形を想像し、タイルの新たな価値を創造していきます。

### Teruhiro Yanagihara Studio (テルヒロ ヤナギハラ スタジオ)

空間、プロダクト、ジャンルを超えてデザインを手掛ける柳原照弘ならではの視点で、建材を超えたタイルの在り方を提案するコレクション。壁や床などの平面装飾に留められていたタイルという存在を、家具やオブジェクトとして活用するという新たな試みを模索しています。



Baked Furniture — Table Size : 600φ x H730 mm

Baked Furniture — Shelves

### India Mahdavi (インディア・マダヴィ)

テヘラン出身パリ拠点の彼女だからこそその独特の色彩感覚と遊び心をタイルで表現したコレクション。ダントーが実験的に製作していたアーカイブの中からユニークなテクスチャーを拾い上げ、現代的でエレガントなデザインへと昇華させています。また、立体的に組み合わせることで、空間に存在する新たなタイルの姿を形作りました。



Ladder

Photo : Mitsugu Uehara

## PROJECT CONCEPT

1885年より続く淡路島の老舗タイルメーカーダントーから誕生した、デザインを通してタイルの可能性を探るブランド〈Alternative Artefacts Danto（略称 A.a. Danto）〉。

Teruhiro Yanagihara Studio によるクリエイティブ・ディレクションのもと、従来のタイルの形、用途にとらわれることなく、素材としてのタイルの可能性を探るプロジェクトです。

世界で活躍する建築家やデザイナー、アーティストをコラボレーターとして日本に招き、新たな視点からタイルづくりに取り組んでいきます。

コラボレーターは江戸時代の珉平焼に始まるダントーの歴史を遡り、タイル職人たちの技や、陶土の開発から取り組むことで生まれる独特のタイルの色合い、特殊な造形にも対応できる量産体制などに触れることになります。こうしたダントーの伝統、技術を活かしながらも自由なアプローチでタイルと向き合います。

タイルのもつ可能性について、〈A.a. Danto〉のクリエイティブ・ディレクター 柳原照弘は次のように話します。

「タイルで空間の雰囲気を一変させることもできます。ダントーのタイルは土を焼成してできるため、陶器のような手触りでぬくもりを感じます。このプロジェクトを通して内装材としてのタイルの可能性を広げていきたいのです」

心に残るタイル——

普遍的な土と伝統的技術、そして常に新たなものづくりに挑戦してきたフロンティア精神、そこにクリエイターたちの視点を加えることで、〈A.a. Danto〉は淡路島に新たな息吹をもたらしていきます。



Photo : Ichiro Mishima

## ARCHIVES

淡路島で1830年ごろから作られていた珉平焼にルーツを持ち、日本のタイル製造の先駆者であるダントーが探究している、タイル・焼き物等のデザイン・アーカイブ。土に対する研究と実験を重ね、早期から海外との交流を行うなど、オープンで革新的な文化が根付いた淡路島では、多様な色彩やユニークなパターンが生まれました。<A.a. Danto>のインスピレーションとして、過去と未来を繋ぐ重要な歴史的資料となっています。

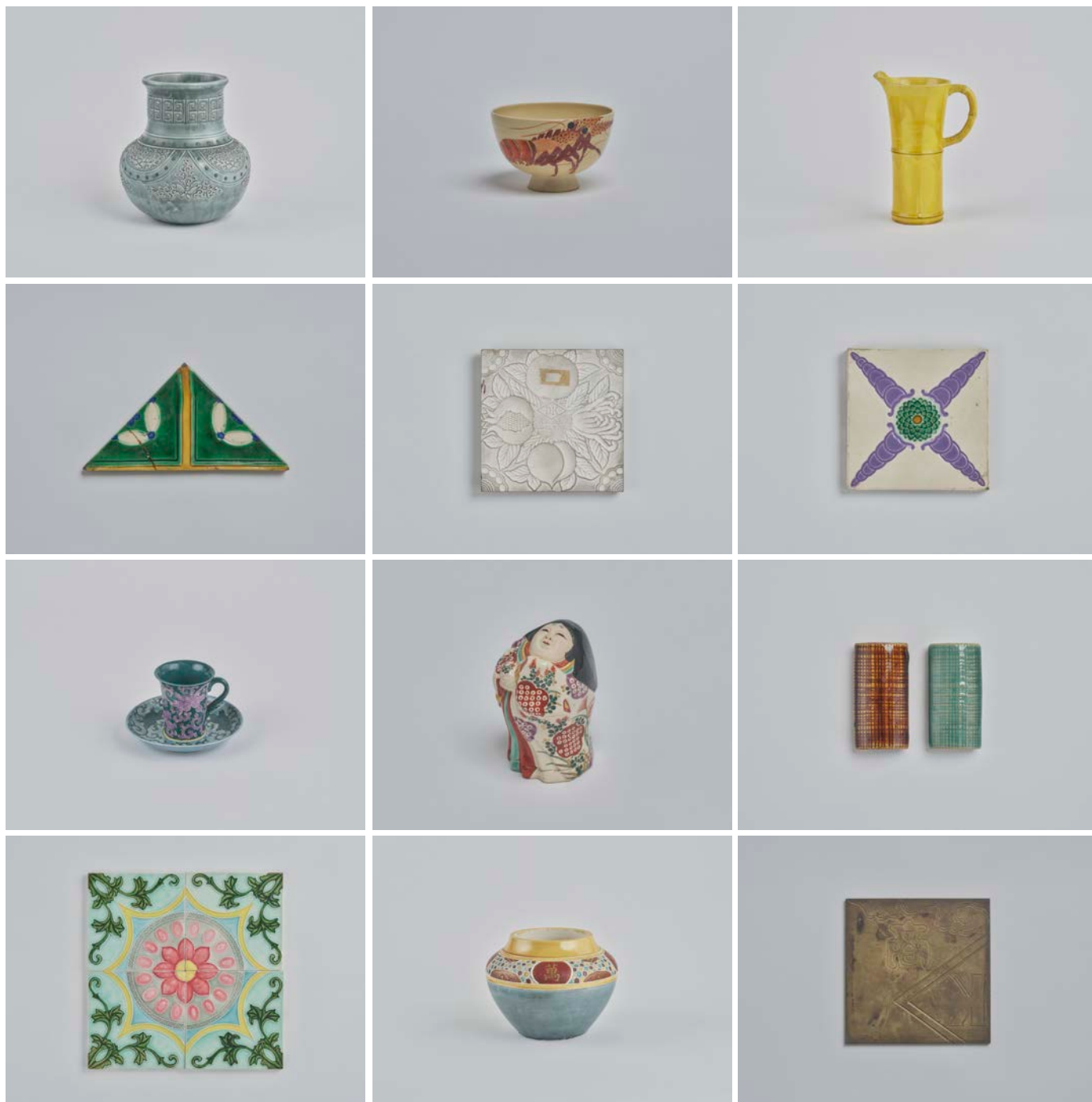


Photo : Ichiro Mishima

**Press Contact : HOW INC.**

MAIL : [pressrelease@how-pr.co.jp](mailto:pressrelease@how-pr.co.jp) TEL : 03-5414-6405

**お客様お問い合わせ先 : Alternative Aretifacts Danto**

MAIL : [info@aa-danto.com](mailto:info@aa-danto.com)